

《履修上の留意事項》この授業ではGoogle Classroomを使用して授業資料の配布や出席確認を行います。

《担当者名》教授 / 花淵 馨也hanab@

【概要】

「病い」や「障がい」は生物医学的に決定されるだけでなく、人が生きる社会や文化のあり方とも深く結びついた広範な現象である。この授業では、現代社会において増加している「拒食症」、心の性と身体の性が一致しない性同一性障害などを含む「LGBTQ」、これら「食」と「性」という人間の基本的営みに関わる二つの問題についてとりあげ、病いや障がいを社会や文化の文脈において捉える医療人類学の視点から考察する。

【学修目標】

病気や医療を社会的・文化的に構築される現象として相対的に捉える医療人類学的視点と方法を説明する。

現代社会における人の生活と病気との関係について広い視野から捉える能力を身につける。

医療の基盤となる深い人間理解と、社会の未来を切り拓くための教養を養う。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	ガイダンス	講義全体の内容と目的の説明	花淵 馨也
2	人間にとって食とは？	食の人類史について説明できる。	花淵 馨也
3	病いの起源	人類進化と病気の関係について説明できる。	花淵 馨也
4	拒食症とは	拒食症の特徴と実態について説明できる。	花淵 馨也
5	器としての身体	具体的事例を通じて、拒食症患者の身体や食に対する歪んだ認識について説明できる。	花淵 馨也
6	グループワーク：なぜ拒食症が増加しているのか？	現代社会における拒食症増加の環境要因について説明できる。 多様な価値を認め、異なる考えをもつ他者と意見を交わす能力を高める。	花淵 馨也
7	現代社会と女性の身体	拒食症増加の社会的・文化的要因について説明できる。	花淵 馨也
8	共食と孤食	現代社会のフードスケープと食事の社会的機能について説明できる。	花淵 馨也
9	ジェンダーとセクシャリティ	文化としての性の規定と境界の性について説明できる。	花淵 馨也
10	LGBTQとは	性別二元論と性の医療化について説明できる。	花淵 馨也
11	第三の性ヒジューラ	異文化におけるトランスジェンダー文化について説明できる。	花淵 馨也
12	残された問題と当事者の声	日本におけるLGBTをめぐる課題と当事者が抱える苦悩について説明できる。	花淵 馨也
13	多様な愛のかたち	具体的事例を通じて、LGBTの愛のかたちの多様性について説明できる。	花淵 馨也
14	ディベート：同性婚について	同性婚の問題について多角的な視点から分析できる。 多様な価値観を認め、異なる考えをもつ他者と意見を交わす能力を高める。	花淵 馨也
15	全体のまとめ	まとめ 病いや障がいを社会的・文化的文脈において説明できる。	花淵 馨也

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

レポート100%

【教科書】

必要に応じてその都度、資料を配付する。

【参考書】

磯野 真穂『なぜふつうに食べられないのか』春秋社

波平 恵美子 著『からだの文化人類学』（大修館書店）

池田 光穂 & 奥野 克己 共編『医療人類学のレッスン：病いをめぐる文化を探る』（学陽書房）

浮ヶ谷幸代『身体と境界の人類学』春風社

【備考】

この授業は医療技術学部との合同授業である。

【学修の準備】

予習：講義で出された宿題を行う。予告された授業テーマについてインターネット等で調べておく（120分）

復習：講義内容についてのまとめを行う。講義で出された課題に取り組む。また、講義で取り上げた内容について、さらに自分で調べる（120分）

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP1. 安全で質の高い歯科医療を提供するために必要な専門知識に基づく問題解決能力と患者ケアのための診療技能とからなる専門的実践能力、および医療・医学研究の発展のために必要な情報・科学技術の活用能力を身につけている。（専門知識に基づいた問題解決能力、患者ケアのための診療技能、情報・科学技術を生かす能力）

DP 2. 「総合的に患者・生活者を支える歯科医療」を提供するために必要な高い倫理観、他者を思いやる豊かな人間性および優れたコミュニケーション能力を身につけている。（総合的に患者・生活者をみる姿勢、プロフェッショナリズム、コミュニケーション能力）

DP3. より安全で質の高い歯科医療を実践し社会に適応する医学を創造していくために生涯にわたって自己および他の医療者との研鑽を継続しながら医療者教育と学術・研究活動にも関与できる能力を身につけている。（科学的探究、生涯に渡ってともに学ぶ姿勢）

DP 4. 多職種（保健、医療、福祉、介護）と連携・協力しながら歯科医師の専門性を発揮し、患者中心の安全な医療を実践できる能力を身につけている。（多職種連携能力）

DP 5. 歯科医療の専門家として、経済的な観点・地域特性を捉えた視点・国際的な視野を持ちながら活躍できる能力を身につけている。（社会における医療の役割の理解）

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している